

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (九州)	◎	*	*
	○	商店街（代表者）	・新規感染者数の山場が過ぎれば、春になり気候も良くなっているため、景気は持ち直してくると期待をしている。
	○	商店街（代表者）	・客の購買行動が変わってきており、新型コロナウイルスに対して不安を感じ、慎重に商品選びをしている。しかし、入学や卒業の季節になり、人流は増加し、売上も少し上がる。
	○	商店街（代表者）	・行政の対応により、2～3か月先は新型コロナウイルスの新規感染者数も減少し、3～4月には景気が回復する。
	○	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの第6波の影響により、外出の自粛や自己防衛意識が高まり、新しい生活様式をとる人が再度増加する。
	○	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株も恐らく減少傾向になるため、景気は回復する。また、各地域のGo To Travelキャンペーンも再開されると一気に好転する。
	○	コンビニ（エリア担当）	・新しい生活様式での経済活動を推進する政策に期待している。
	○	衣料品専門店（店員）	・第6波が落ち着いたら、少し回復する。
	○	家電量販店（店員）	・9～11月は非常に景気が落ち込んでいたが、徐々に上向いている。前年や前々年と比較すると満足できる数字ではないが、この流れは4～5月まで継続すると予想しているため、良くなっていく。
	○	家電量販店（従業員）	・春の新生活に向けて、需要が増えていく。
	○	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・3か月後には、第6波も落ち着く可能性が高い。現状よりは良くなる。
	○	観光型ホテル（専務）	・今が最低の状態であり、これ以上状況は悪くならない。新型コロナウイルスの感染拡大が続くと、取引業者も含めて体力が持つか分からない。
	○	観光型ホテル（総務）	・3月には新型コロナウイルスの第6波が収束し、卒業や入学、就職等、人の動きが活発になり、運営するシティホテルの利用も増えていく。
	○	旅行代理店（職員）	・新規感染者数が減少し、2～3か月先には旅行需要が今よりは良くなる。
	○	ゴルフ場（従業員）	・この先1か月は厳しい状況が続くが、2月中に新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が落ち着き、気候も良くなるため、入場者数は回復する。
	○	美容室（経営者）	・2～3か月先は春になるため、業界自体の景気は上がってくる。新製品の発表や、人の動きが出てくると少しずつ景気は回復してくる。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス次第であり、売上に予想以上の影響がある。
	□	一般小売店〔青果〕（店長）	・相場的に上限もなく、大きなイベントもないため、このまま推移していくと予想している。春先には、当地特産の柑橘系果物がギフトで動くのを期待しているが、前年から比較すると厳しい状況である。
	□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・卒業式の季節であり、花を贈る機会は例年増えるが、新型コロナウイルスの影響で今年の売上の増加に確信が持てない。
	□	百貨店（企画担当）	・当県で初めてまん延防止等重点措置が適用され、今後の来客数は更に減少する見込みである。新型コロナウイルスオミクロン株の今後の状況にもよるが、現状からの大きな改善、回復は見込めず、停滞状況がしばらく継続する。
□	百貨店（企画担当）	・新しい生活様式の需要はあるが、新型コロナウイルスの影響で必要最低限にとどまる。	
□	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の発生などで、現時点では収束がみえない。	
□	百貨店（経理担当）	・まん延防止等重点措置の影響で、催事を含めた来客数の減少が見込まれ、売上高も減少傾向であるが、前年のような来客数の急激な減少までには至っていない。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・新規感染者数の急増により、来客数は急減し、1月中旬以降は連日の新型コロナウイルスオミクロン株の報道で、店頭への来店が月末に掛け大きく落ち込んでいる。今後は県下のサテライトショップやギフトショップ、通信販売、ネット受注の増加を予想している。店頭への来客数は大きく落ち込んでいるが、自家需要中心でし好性の高い舶来雑貨、時計、リビング用品は堅調であり、客単価、商品単価は維持している。新規感染者数が減少するまでは来店での売上の回復は遅れる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急拡大しており、長引く感染対策で消費意欲も低下している。以前のような巣籠り需要はなく、また、消費者の経済的困窮度も段々と増している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・スーパーマーケットにとって内食の増加は売上に繋がる。一方で都市部では、食費を節約して支出を抑える傾向もあるため苦戦する店舗もあり、売上は大きく変わらない。新型コロナウイルスの感染が大きな要因になると考えられる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（統括者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の現状から内食需要が増加しても、時短営業等での買物となり、現状は変わらない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・客は新型コロナウイルスに慣れた様子も見受けられるが、来客数や客単価に影響が出て、厳しさが増している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（取締役）	・本来であれば4月は年度が替わり、洋服の買換え需要があるが、オンライン主流の風潮になり、買換え需要があるとは考えにくく、先が読めない状況である。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	・12月に支給された給付金で景気が上向くと予想していたが、今のところ上向いていない。家電業界は、新型コロナウイルスの感染が流行すると追い風が吹く傾向があり、現在は第6波の影響で若干良くなっているが、2～3か月後の景気は分からない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・半導体不足による家電業界への影響が続いているため、電話機やFax、プリンターを購入に来ている客に、売りたいくても売ることができない機会損失が多い。一方、パソコン等単価の高い物が売れており、差し引くと変わらない状態である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・現在の景気は、新型コロナウイルスの対策と相関関係があるため、ゴールデンウィークで新規感染者数が増え、人流に影響があり、現状と同様の状況になると予想している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（総務担当）	・新車生産が、半導体不足や新型コロナウイルスの影響で減少したままである。新型コロナウイルスの感染が拡大している状況下では、当面生産の回復は見込めない。自動車販売店では、販売する商品がなく、大変厳しい経営が続いていく。
<input type="checkbox"/>	その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	・第6波の状況次第であり、濃厚接触の定義や集客の制限に緩和の傾向がみられるため、春頃には元の日常に近い形に戻ると予想され、2月は小売業全体で厳しくなるが3～4月は反動で回復する。
<input type="checkbox"/>	観光旅館組合（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない限り、集客は見込めない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新規感染者数の増減により、景気は今まで経験したことがないほどの乱高下を繰り返しており、早い収束を期待するしかなく、不安定な状況が今後も続いていく。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、売上が減少している。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルス対策関連商品の受注や受注見込みが多くなっている。特別対応であり単価は小さくないが、通常対応が相対的に縮小している。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	・現在の好調な販売量が、当分維持される。
<input type="checkbox"/>	通信会社（統括者）	・繁忙期である2～3月は携帯電話の販売見込みを前年並みと計画しているが、新型コロナウイルスの感染拡大により現在の来客数が継続すると、前年より売上は減少する。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大が影響する。
<input type="checkbox"/>	観光名所（従業員）	・ワクチン接種の動きはあるものの、新型コロナウイルス感染拡大第6波の先行きが分からないため、見通しが立てられない。
<input type="checkbox"/>	競馬場（職員）	・新型コロナウイルス感染拡大第6波が収束しても、第7波への懸念等から、来客数減少の不安が拭えない。

□	理容室（経営者）	・今月に入り、当県も新型コロナウイルスの新規感染者数が増加したため、来客数が減少している。最近では、土日でも今までにないほど来客数が少なく、全ての曜日で新型コロナウイルスの影響が出ている。
□	その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・客からの受注も増えていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、操業や往来が減少する。また、原油価格が上昇し、物価の高騰で結局現状と変わらないと予測している。
□	設計事務所（所長）	・今月の売上が良くないため、2～3か月先もその状態が続く。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染収束がみえなければ、以前の景気は取り戻せない。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大で、景気は悪くなっていく。しかし、新型コロナウイルスオミクロン株の特徴がはっきりしてくれば、春先には景気は少し上向きになると予想されるが、新型コロナウイルス次第であるため、現時点では判断は難しい。
▲	商店街（代表者）	・年末年始は人通りも戻っていたが、第6波の影響でかなり人通りが少なくなっている。通りにある店も来客数はまばらであり、この1～2か月は厳しい商況になる。
▲	商店街（代表者）	・毎年3～4月は卒園や卒業、入園、就職等があり、それに加えて食料品の値上げが発表されており、家計がひっ迫するため、景気は良くならない。
▲	一般小売店〔精肉〕（店員）	・飲食店向けの需要が回復しない。
▲	一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・魚離れを実感しており、2月は節分の恵方巻き、3月はひな祭りがあるが、その行事で魚の消費や売上が回復するか心配である。当市の魚屋は、このままではなくなってしまうと危惧している。また、飲食店も継続が見込めるのかと暗い気持ちになっている。
▲	一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・売上は新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況に左右される。1日でも早い新規感染者数の減少を期待している。
▲	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束する見通しが立たず、来客数は激減する。
▲	百貨店（業務担当）	・新しい生活様式が長期間続いており、より消費に対して消極的になっていく。客の関心は3回目のワクチン接種等に向かい、景気はより厳しさを増していく。
▲	スーパー（企画担当）	・原料の値上げによる販売価格上昇に加え、ディスカウントストアの相次ぐ出店で競争が激しくなる。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加しており、その影響を心配している。また、従業員も限られた人数で営業しているため、感染者が出ないか不安である。
▲	コンビニ（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除されるまでは人の動きは少なくなる。また、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が更に増加した場合、再度緊急事態宣言が発出されれば、当面景気の回復は見込めない。
▲	コンビニ（経営者）	・春の催事、行事の中止が相次いで発表されており、人流は低調で推移していく。
▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株による第6波がいつまで続くか懸念される。感染拡大が長期化すれば、景気は悪くなる。
▲	コンビニ（エリア担当・店長）	・まん延防止等重点措置の適用で、夜の客が外出を控えている。まん延防止等重点措置の解除後の動きにもよるが、しばらくは客の動きが鈍る。
▲	衣料品専門店（店長）	・3回目のワクチン接種が始まっているが、人の心が落ち着かなければ景気も良くならない。世の中全体が不安定で、2～3か月先が読めない。
▲	家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響が大きく、まん延防止等重点措置の継続や緊急事態宣言等が出されれば、どうしても人流が少なくなり、また景気は落ち込む。
▲	家電量販店（従業員）	・先日の地震で当県の半導体工場が被災している。製造停止が続けば、1年以上も半導体不足が解消されず、現状以上の生産遅延が懸念され、売上への影響が大きくなる。
▲	乗用車販売店（従業員）	・安定していた部品の供給が、一部滞り始めている。

▲	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が急激に増加している。現在第6波が発生しているが、2～3月が新規感染者数の山場で、経済活動が低迷する。
▲	住関連専門店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大のピークがまだみえないため、今後とも来客数等に大きな悪影響が想定される。
▲	その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で、当県もまん延防止等重点措置が適用され、店舗への入場制限をしているが、まん延防止等重点措置の適用と同時に来客数は減少している。解除後の2月の動きは分からないが、今後2～3か月先の売上は例年より下がっていく。
▲	その他専門店〔書籍〕（副店長）	・1月中旬以降、新型コロナウイルス新規感染者数の増加とともに売上が減りつつある。感染拡大が落ち着かない限り、売上は悪くなる。
▲	その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	・新型コロナウイルスの感染拡大によって、飲食店は時短営業や休業となっているが、新型コロナウイルス支援対策も手薄になっている。
▲	通信会社（営業担当）	・1月の新型コロナウイルスオミクロン株による新規感染者数の急速な増加で、経済活動全体が再び低迷状態に戻っている。
▲	通信会社（業務担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の上昇で、営業活動に支障が出ている。
▲	ゴルフ場（営業）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が更に拡大し、景気や人流が停滞する。
▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で客は感染を恐れており、街には人気がなくなっている。国からの補償がなければ、精神的にも生計も成り立たない。
▲	美容室（店長）	・例年1～2月は来客数が少なくなるが、高齢の客が多く、感染を恐れて外出をしない。現状を見守るしかない。
▲	その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・新型コロナウイルス感染症が想定を上回る勢いで拡大しており、更なる予約取消しや客の減少を懸念している。
▲	設計事務所（代表）	・新型コロナウイルスの影響が長引く。
▲	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が続くと、客との商談や打合せができなくなるため、景気はやや悪くなる。
▲	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行で社会活動に制限が掛かり、補助金等はあるものの消費に回る状況ではないため、景気は悪くなる。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況がみえないため、先行きが不安である。新型コロナウイルスオミクロン株が、一刻も早く収束することを期待している。
×	百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響に加え、政府の対策であるまん延防止等重点措置も影響し、景気は悪くなる。
×	コンビニ（店長）	・例年この時期は従業員の入替え時期であるが、人手を確保するのが非常に困難になっている。客が来店しても、人手不足が営業に影響していく可能性がある。
×	乗用車販売店（代表）	・新型コロナウイルスの影響で悪くなる。
×	高級レストラン（経営者）	・急激に新規感染者数が増加し、忘年会や新年会もほとんどなく、人の動きがない状態になっている。売上は全く上がらず、例年の2割程度である。
×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の急増でまん延防止等重点措置が適用され、時短営業の要請や、終日酒類販売停止で営業にならない。
×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数はまだまだ増加傾向にあり、前年の傾向から5月まで人流抑制の政策が予想される。その影響で、観光業や外食等のレジャー産業は営業ができなくなる。
×	都市型ホテル（販売担当）	・まん延防止等重点措置が2月20日まで続けば、3月までの予約に影響が出てくる。また、例年4月は売上が低いため、景気低迷が継続する。
×	タクシー運転手	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大のピークや収束の時期が予測できない。この厳しい状態が1か月は続いていく。
×	設計事務所（所長）	・新年度に材料や製品単価の大幅な値上げを予告されており、景気は新型コロナウイルスの感染状況にも左右される。
企業	◎	—

動向 関連  (九州)	○	出版・印刷・同関連産業 (営業担当)	・年度末の納入完了を控えているため、売上は良くなる。
	○	一般機械器具製造業 (経営者)	・この先1～2か月で新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてくると考えられるため、2～3か月前からの上昇傾向がそのまま続いていく。
	○	電気機械器具製造業 (総務担当)	・半導体関連の客からの受注見込みがある。
	○	その他製造業 [産業廃棄物処理業]	・今年の受注目標は高く設定している。原料調達が課題となっており、解決できれば生産は向上する。
	○	金融業 (営業)	・景気は新型コロナウイルスの感染状況次第であるため、不透明である。現状から、新型コロナウイルスオミクロン株が爆発的に感染拡大した後、2～3か月先は落ち着いている可能性があり、景気は上昇していると予想している。
	○	広告代理店 (役員)	・今後2か月は、客からの業務発注や、新しい提案に対する需要が順調に推移するが、年度が替わる4月以降は不透明である。
	○	経営コンサルタント (代表取締役)	・春先までには新型コロナウイルスオミクロン株も落ち着き、新型コロナウイルス感染症の収束で状況は好転していき、景気は良くなっていく。
	□	農林水産業 (従業者)	・来月からは市況が上がることを期待するが、一方、新聞やテレビが野菜の価格高騰を報じることで、農業者の所得は更に厳しくなる。
	□	家具製造業 (従業員)	・例年は年度末に向けて繁忙期を迎える市場であるが、案件情報が枯渇しており見通しが立たない状況が続いている。景気回復は早くても4月以降になる。
	□	化学工業 (総務担当)	・本年度については業績も好調であるが、来年度の見通しについては情報が不足している。
	□	窯業・土石製品製造業 (経営者)	・売上や単価は前年と余り変わらないが、原材料等の材料費の値上がりがあり危惧している。売上は前年度と変わりがないが、人件費の底上げがあり、不安視している。
	□	金属製品製造業 (事業統括)	・部品不足、材料費高騰は当分続くとみられ、受注売上への影響は続く。
	□	一般機械器具製造業 (経営者)	・客の声や営業部門の報告から、半導体分野での業況感はある程度良くなっている。しかし、他の分野の業況は現状と変わらない。
	□	電気機械器具製造業 (経営者)	・原材料や部品等の調達が難しいため、多少生産に影響しているものの大きな変化はない。今後もほぼ同水準で生産できる。
	□	電気機械器具製造業 (取締役)	・半導体等の価格高騰や材料不足の影響が徐々に出ており、加えて新型コロナウイルスのまん延により社会活動全体が遅れるおそれがある。
	□	輸送業 (従業員)	・新型コロナウイルスに起因する影響が多く、経済の回復はまだまだ見通せない。
	□	通信業 (職員)	・来年度の入札等を含め発注が見込まれる案件の営業情報が少なく、受注目標を高く設定できない。
	□	通信業 (経理担当)	・新型コロナウイルスに対する抜本的な対策が打ち出されていないため、景気は変わらない。
	□	金融業 (調査担当)	・新型コロナウイルス感染拡大第6波の状況から、コロナ禍の早期収束は遠ざかり、ガソリンや食品等の価格上昇が追い打ちとなり、購買意欲は当面の間は低迷する。
	□	金融業 (営業担当)	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の急増により、一時的に景気が停滞するが、ワクチン接種や飲み薬の普及により、3か月後には収束が見通せる。しかし消費及び製造では、全体的に資材や部品等の調達が難しいことになり、価格も高止まりしており、また世界中で同様の状態であることから、景気はすぐには変わらない。
□	不動産業 (従業員)	・賃貸物件が、現状の稼働率で継続する。	
□	新聞社 [広告] (担当者)	・景気向上の好材料が見当たらない。	
□	経営コンサルタント (代表取締役)	・Webのアクセス件数や問合せ件数に大きな変化がない。	
□	経営コンサルタント (社員)	・この数か月の販売活動、周囲の状況から景気が良くなるとは考えられない。	
□	その他サービス業 [物リース] (職員)	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による労働力の低下で、現状と比べて大きく変動はない。	

	▲	農林水産業（経営者）	・本来であれば行楽や人の移動で売上が上がる時期であるが、前年同様、新型コロナウイルスの影響で売上は減少する。加えて、鳥インフルエンザが発生しており、原料不足で工場稼働に影響が出ている。入国制限による外国人労働者の不足や、コロナ禍による従業員の休みも、工場生産に大きな負担となっており、経営は厳しい。
	▲	食料品製造業（経営者）	・端境期に入り、生産、受注共に減少する。
	▲	繊維工業（営業担当）	・3か月後も変わらないか、若しくはもっと悪くなる可能性がある。
	▲	輸送用機械器具製造業（営業担当）	・半導体やハーネス等の部品供給減少の影響で、生産台数が減少する。
	▲	建設業（従業員）	・官公庁の受注に結び付かない。新型コロナウイルスの影響で、民間工事の設備投資計画も期待できないため、景気もやや悪くなる。
	▲	輸送業（従業員）	・原料調達の遅れに加えて、新型コロナウイルスの濃厚接触による出勤停止で工場を稼働する人員の不足が発生している。この状況が更に拡大する見込みである。
	▲	輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が経済に影響を与える。店の時短営業などが貨物の受注量に響いてくる。
	▲	金融業（従業員）	・公共投資が高水準で推移しており、住宅投資も持ち直しの傾向であったが、原材料費の増加に加え、新型コロナウイルスオミクロン株の急速な感染拡大により、飲食店や旅行、観光関連業者は先行きを懸念している。
	▲	金融業（調査担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が本格化しており、1日当たり新規感染者数は過去最多を更新している。まん延防止等重点措置による飲食店への影響はもちろんのことだが、療養者が増加することで経済活動そのものに支障を来す可能性があり、あらゆる業種で景気の減速を懸念している。
	▲	広告代理店（従業員）	・まん延防止等重点措置の適用により、1～2か月はやや悪いと予測している。新型コロナウイルス感染症はすぐには収束しないため懸念している。
	×	建設業（社員）	・令和4年度の予算が成立し、公共工事が発注されるのはゴールデンウィーク後の5月になることは例年と変わらない。もっと早急な発注を期待している。
	×	経営コンサルタント（社員）	・新規感染者数の山場は2月上旬と考えており、そのため5月末までは外出が制限される。
	×	その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	・今後も、市町村が委託業務を発注する見通しであるが、入札に参加してもダンピングした金額で他社が落札することが予想されるため、受注の機会は得られず景気は悪くなる。
雇用 関連 (九州)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（社員）	・3月の受注はあるため、新型コロナウイルスの感染が山場を迎えれば、景気は落ち着いてくる。
	○	新聞社〔求人広告〕（社員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況次第ではあるが、今までは重症者が減少し、ある程度の期間で山場を過ぎれば、2～3か月後の景気は持ち直している。秋口から1月の3連休までは、人の動きも活発であり、新聞広告の量もそれなりにあったことを考えると、抑制されていたことの反動で景気が良くなる。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・現在の新型コロナウイルスの感染状況が頂点を抜け下り坂になり、3回目のワクチン接種が始まり、3～4月で異動や新生活の時期を迎えることから、景気は上向く。
	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・春先に向け、新型コロナウイルスも一時的に収束へ向かい、新型コロナウイルス対策を採り入れた新しい方向性のビジネスが定着していくと予想している。
	○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、新規求人数は伸びを継続し、求職者数にも若干の増加傾向がある。
	□	人材派遣会社（社員）	・求人数は増加しているが、求職者の動きが鈍く、求人数が滞留している状況である。賃金の底上げが重要になるが、派遣先の承諾次第である。
	□	求人情報誌製作会社（編集者）	・まん延防止等重点措置が再適用され、年度替わりの需要が伸びない可能性が出ている。本来であれば、卒業や入学、春休み、転職、転勤等、人が動く季節であるが、それらの需要が見込めない状況である。繁華街の人出や車の往来も目に見えて減少している。

□	民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、今後の就職活動はオンライン選考が主体になるが、企業もこの2年で採用活動の経験値を上げ、採用活動自体が中止になることは考えられない。また、全体の景気も一部の業界を除くと良くなっており、悪くすることはない。
□	学校〔大学〕（就職支援業務）	・年明けからの新型コロナウイルスオミクロン株の爆発的な感染拡大で、多くの地域でまん延防止等重点措置が適用され、10月以降緩和していた日常生活や経済への影響を懸念している。ただ、企業の採用活動は、一部の企業で採用数が増加し、多くの企業で2023年度卒業の採用者数は、本年度と同程度になる。また、オンラインによるインターンシップの実施は前年度よりも増えており、企業の採用意欲は前年以上に高まっている。
▲	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスで各業界も通常業務に制限がみられ、新規求人等の流れは少なく、登録者や求職者も増加の兆しが余りない。人選にも時間が掛かる状況が続いていく。
▲	人材派遣会社（社員）	・今月末からまん延防止等重点措置が適用されるため、人事面でも調整等があると予想される。
▲	職業安定所（職員）	・新規求人数は、4月以降では最高値になると見込まれるが、公的機関からの臨時求人数の増加が要因である。また、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が拡大しており、まん延防止等重点措置の適用により、雇用調整助成金の相談や申請等が増加する。
▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染拡大により、宿泊業、飲食業、卸売業、小売業、運輸業の業績悪化が予想される。
×	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染が収束せず、厳しい事業運営が長引いているため、業種によっては経営が危うい事業者がかなり出てくる。今回は会社倒産の危機感を持っている事業者が複数ある。